

つくば市の概要と環境対策

飯野 哲雄

つくば市役所 市長公室 公室長

1. つくば市の概要

1)地勢・歴史

面積；284 平方キロ、人口：207,000 人

昭和 55 年 筑波研究学園都市概成（市域の約 10%： 2,700 ヘクタール）

昭和 62 年 つくば市誕生(11 月 30 日・新設合併)

2)花・鳥・木

花：ホシザキユキノシ 鳥：フクロウ 木：ケヤキ

3)総合計画(基本構想)

将来像：健康で健全なまち・つくばの創造

計画指標（人口）：平成 27 年・24 万人、将来人口・35 万人

4)つくばスタイルのまちづくり

都市環境と研究・教育環境、自然環境をいかしたつくばならではのライフスタイル

5)自律都市に向けた取り組み

特例市への移行、東京事務所の設置(シテールス)、市民協働

2. 環境対策

1)つくば市環境基本条例

平成 10 年 10 月 1 日施行

趣旨：市民、事業者、市の機関が一体となり、健全で恵み豊かな環境を保全するとともに環境への負荷の少ない持続的な発展が可能なたくば市を作り上げていく。

2)地球温暖化対策実行計画 平成 16 年 8 月策定(平成 18 年 6 月改訂)

省エネルギーの推進、省資源の推進、廃棄物の削減とリサイクルの推進

3)市役所内の取り組み

ISO14001：環境管理システムの運用 平成 15 年 7 月開始 翌年 2 月認証

4)公共施設における取り組み

太陽光発電：筑波西中学校体育館 定格出力 50 KW 平成 16 年 6 月導入

茎崎ふれあいプラザ 定格出力 10 KW 平成 17 年 3 月導入

5)地域における取り組み

ハイブリット発電システム：上菅間地区生活排水路浄化施設

風力発電：6 KW 太陽光：3.78 KW 平成 17 年 9 月導入

6)家庭での取り組み

住宅用太陽光発電システム設置補助事業：1 KW あたり 4 万円、12 万円を限度

7)新庁舎建設

分散庁舎の弊害（環境への影響、サービスの低下、経済的ロス：約 4 億円／年）

平成 22 年春に開庁予定

8)新庁舎の省エネ対策

空調負荷低減：アースピットからの外気導入、自然換気、太陽光遮断

その他：トップライトによる自然採光、屋上緑化による断熱、雨水利用・浸透など